

【学校教育目標】

心豊かでたくましく 主体的に生きる子の育成

【めざす子ども像】

よく考える子 思いやりのある子 体をきたえる子 世界に心をひらく子

児童・生徒の実態

◎学習意欲 ◎インプット
◎素直 ◎前向き

児童・生徒の実態

▲学力差 ▲自主性
▲他者への説明 ▲アウトプット

～ 研究主題 ～

一人一人の子どもたちが輝く 個別最適な学び と 協働的な学び の実現に向けて

個別最適な学び

①指導の個別化

一人一人の特性、進度に応じた教材、指導法、時間の確保
支援の必要な児童生徒への重点的な指導（語彙力向上など）

②学習の個性化

探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・
表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習
課題に取り組む機会を提供

③「子どもの問い」を軸にした授業設計

④個別のゴールを設定（児童・生徒、教師と共有化）

達成感 UP↑ 自信も UP↑

協働的な学び

①教科の特性を生かした、魅力ある教材

（学びたい!調べたい!伝えたい!〇〇したい!!）

②協働的な学びに必然性のあるカリキュラムマネジメント

（地域・社会との連携、探究的な学習、体験学習など）

③様々な関わりの中で、自分の存在や考えを客観的に
見る場の設定

④多様な他者と協働しながら、異なる考え方が
組み合わせり、よりよい学びを生み出す

⑤個、ペア、全体の場の設定（協同学習のパターン）

ICTの活用

（個別）…学習履歴（スタディ・ログ）、ポートフォリオ （協働的）…比較、検討、共有化、可視化

①児童・生徒と教師で
授業を創る（伴走者としての存在）

②授業で
人間関係を創る

③ラボで切磋琢磨して
授業を創る

【めざす教師像】

学び続ける教師 子ども中心の教師 情熱のある教師 信頼される教師